

北海道花き・野菜 技術研修



花・野菜技術センターでは、本道農業の新たな主役と成長した「花き」「野菜」の一層の発展を支援するため、技術研修を平成9年度から実施し、本年までに約280名の方が受講され、本道農業の担い手として各地で活躍されています。

- 花き・野菜生産者として必要な技術を、第一線で活躍する研究員が指導します。
- 栽培管理の基本技術のほか、研究開発した「最新の技術」を体験できます。
- 農業改良普及センターや地域農業技術センターとの連携により「すぐに役立つ技術」を学べます。
- 研修専用のほ場・温室及び宿泊施設(全室個室)を設置し、快適な研修生活が過ごせます。
- 全道各地の研修生とのネットワークを築けます。
- 研究員からフォローアップ(事後指導)が受けられます。

専門技術研修

コース 花き栽培、野菜栽培、土壌肥料、病害虫

期間 1年以内の範囲で任意に設定できます

募集人員 各コース2名程度

花き・野菜生産の スペシャリストづくりを支援します。

花き・野菜生産に関する高度な専門技術を有する生産者や指導者の養成を目的に、研究員などによる濃密な個別指導を行います。

1年以内の期間で、学びたい項目に合わせて受講の時期及び期間、受講方法などを決定します。

自主的な調査研究や総合技術研修の講義・実習への参加など、受講者自らがプランニングできるユニークな研修です。



- 花き栽培コース スターチス、カーネーション、ゆり、トルコギキョウ、デルフィニウム等、道内主要花きの栽培技術
- 野菜栽培コース メロン、アスパラガス、トマト、かぼちゃ、たまねぎ等、道内主要野菜の栽培技術
- 土壌肥料コース 花き・野菜に関する土壌・作物栄養診断及び肥培管理
- 病害虫コース 花き・野菜に関する病害虫の診断及び防除技術

総合技術研修

コース 花き、野菜

期間 平成30年4月10日(火)～10月5日(金)

募集人員 10名

花き・野菜の栽培技術を じっくり学びたい方を支援します。

花き・野菜の実践的な技術を有する生産者の育成を目的に、花きと野菜のコース別に少人数制による講義・演習・実習・視察研修等をとおして、基礎理論から実践技術までを丁寧に分かりやすく指導します。

本センターの研究員をはじめ、本道の花き・野菜の第一線で活躍中の技術指導者により、基礎から最先端までの幅広い技術が学べます。

6か月のカリキュラムにより、研修専用のほ場・温室等を活用し、実際の作物栽培を主体に講義や視察研修をとおして、花き・野菜経営に必要な技術や知識を幅広く学べます。

また、市町村で研修中(予定を含む)の方が総合技術研修を受講する場合は、期間の変更が可能です。



■研修時間
月曜日～金曜日
(祝祭日を除く)
9:00～17:00

研修対象者

研修の対象者は、高等学校卒業又は同等以上の学力を有する心身ともに健康で次のいずれかに該当する方とします。

1 専門技術研修

- (1)道内において、花き・野菜の生産に従事している方。
- (2)道内の各農業関係機関・団体などで技術指導等に従事している方。
- (3)道内において、花き・野菜の生産や技術指導への従事を志し、大学、短期大学及び専門学校等で花き・野菜に関する専門教育を受けた方。
- (4)その他、花・野菜技術センター場長が認める方。

2 総合技術研修

- (1)道内において、花き・野菜の生産に従事している方又は従事を志す方。
- (2)道内の各農業関係機関・団体などで技術指導等に従事している方又は従事を志す方。
- (3)その他、花・野菜技術センター場長が認める方。

申し込み手続き

1 申し込み

研修の申し込みは、「研修生願書」(「身上調書」を含む)を記載の上、次表を参考に該当する機関からの推薦を受け、花・野菜技術センターに提出してください。

▼推薦機関一覧

区分	推薦機関
農業者(法人の構成員を含む)	管轄する農業改良普及センター所長(支所長)、又は市町村長
農業関係各機関・団体等の職員	所属する機関・団体等の代表者
大学・高等学校等の卒業予定者	学長・学校長又は管轄する農業改良普及センター所長(支所長)
新規就農者(予定者を含む)	就農予定地を管轄する農業改良普及センター所長(支所長)、公益財団法人北海道農業公社理事長(北海道農業担い手育成センター)又は市町村長
市町村において農業研修を受講している者(予定者を含む)	農業研修を実施している市町村

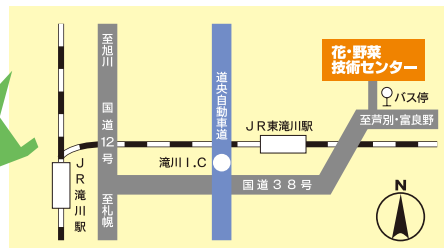
2 受付

専門技術研修 研修開始の原則1ヶ月前まで

総合技術研修 平成29年11月1日(水)から平成30年2月28日(水)まで

※平成30年度北海道花き・野菜技術研修募集要領(願書在中)は各農業改良普及センター及び各総合振興局(振興局)農務課に用意してあります。また、花・野菜技術センターホームページにも記載しています。

具体的な研修内容や申し込み方法については、「平成30年度北海道花き・野菜技術研修募集要領」をご覧ください。不明な点については、花・野菜技術センター技術研修グループにお問い合わせください。



■道央自動車道滝川インターチェンジより車で約5分。
■滝川バスターミナルより中央バス芦別方面行き乗車、バス停「花・野菜技術センター入口」下車のち徒歩15分。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部

花・野菜技術センター

〒073-0026 北海道滝川市東滝川735番地

電話 0125-28-2800 FAX 0125-28-2299

URL <http://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/hanayasai/>

入寮について

研修を受講される方は、原則として本センター内に設置している研修寮に入寮していただきますが、所定の時間までに通える方についてはこの限りではありません。



研修寮

全室個室30室、談話室、浴室(2か所)、小体育館などがあります。

研修経費



研修に対する授業料、教材費は不要ですが、寮の食費は各自の負担となります。なお、視察研修などで移動の際は、本センターが用意するバス等を使用しますので交通費の負担はありません。

食費

朝食 300円
昼食 400円
夕食 500円

※注1 料金は、全て税抜価格です。
※注2 食事は土・日・祝祭日を除く3食です。

